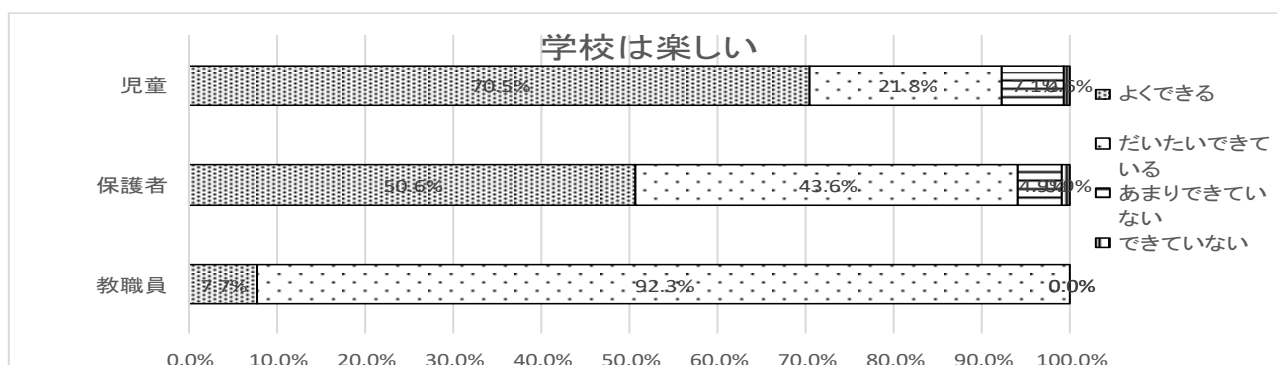


かつらだより3月号増刊号 学校評価（後期）アンケートより〔改訂版〕

学校は楽しい

学校運営協議会の皆さまからいただいたご意見を入れて改訂版を発行します。

「学校は楽しい」と回答した児童の割合は、前期より約1ポイント下がって約92％、保護者の割合は、前期より約2ポイント下がって約94％となっています。そのなかでも「よく出来ている」と回答した児童の割合は前期より約1ポイント、保護者の割合は前期より約5ポイント下がっています。「学校は楽しい」と感じていない児童をしっかりと見守り、これからも100％をめざして児童と向き合うことが大切だと考えています。

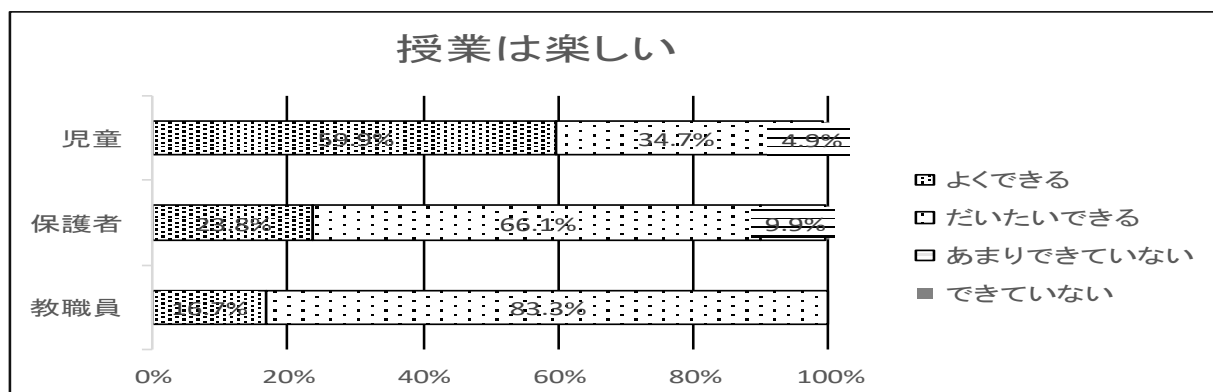


確かな学力

学習は楽しい

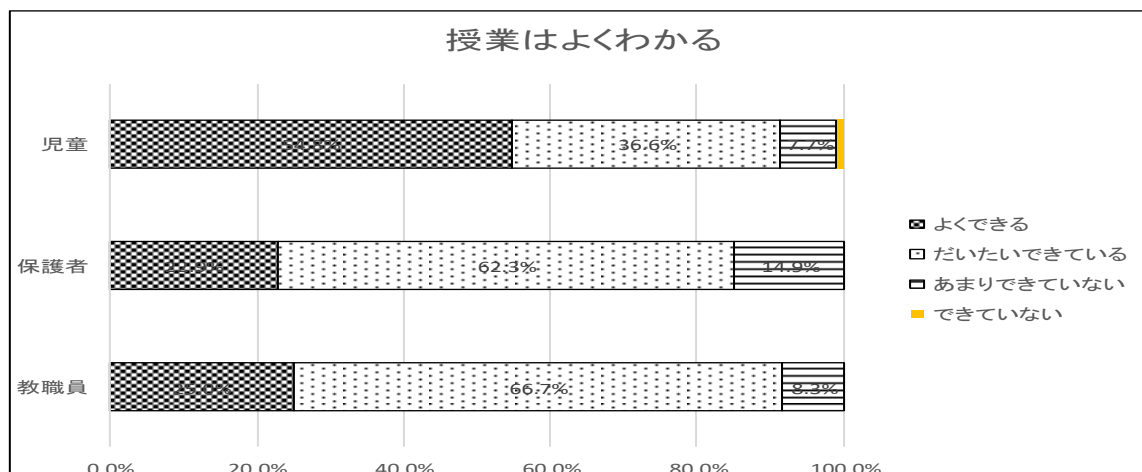
楽しい授業（授業展開）におおむね満足、できていると感じている児童が約95％、保護者が約92％、全ての教師が「児童が分かる授業を追求し、展開できている」と答えています。授業に満足している子どもが多く、保護者も子どもの日々の様子から概ね安心して預けていることがわかります。しかし、約95％の児童が満足できているとする一方で、約5％の児童が満足できていない状況があります。満足できていない児童の割合は、前期の約6％に比べ1ポイント減少していますが、今後もこの5％の児童をどう支援していくのかを考える必要があります。

引き続き、児童が課題を把握しやすく、楽しく授業に参加できるように具体物を提示したり、ワークシートを作成し、分かりやすく書き込めるようにするなど、「できた」「やった」「楽しい」と思えるような手立てを考えていくことが必要であると考えています。



わかる授業

「授業がよくわかる」と回答した児童の割合は、前期より2ポイント下がり約91%。保護者の割合は、前期より1ポイント下がり約85%となっています。児童・教師に比べると保護者は「基礎的な学力が身についていない」と感じています。家庭学習で、宿題に取り組み「わからない」という児童の様子が見られるのかもしれませんが。今後も児童がわかる授業を展開するとともに、個別にしっかりと連携していくことが大切だと考えています。

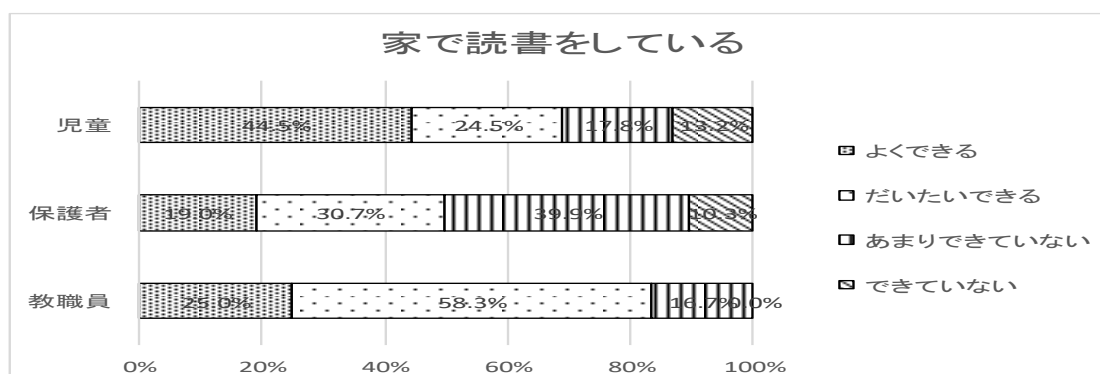


家庭学習

家庭学習については、児童の約87%、保護者の約81%が「できている」と感じています。前期より児童の割合が2ポイント、保護者の割合が1ポイント上がっています。今後も日々の宿題をチェックしてできているかを確認し、3年生以上の学年で取り組んでいる自主学習の計画表と自己評価から、課題がきちんとできているかを確認していくことが必要だと考えています。自学自習の取組は、桂中学校区の3小学校と中学校でも共通の取組としています。学校運営協議会では、子どもが自主学習ノートを活用して、見通しをもって取り組むことができるようになったとのご意見をいただきました。

読書

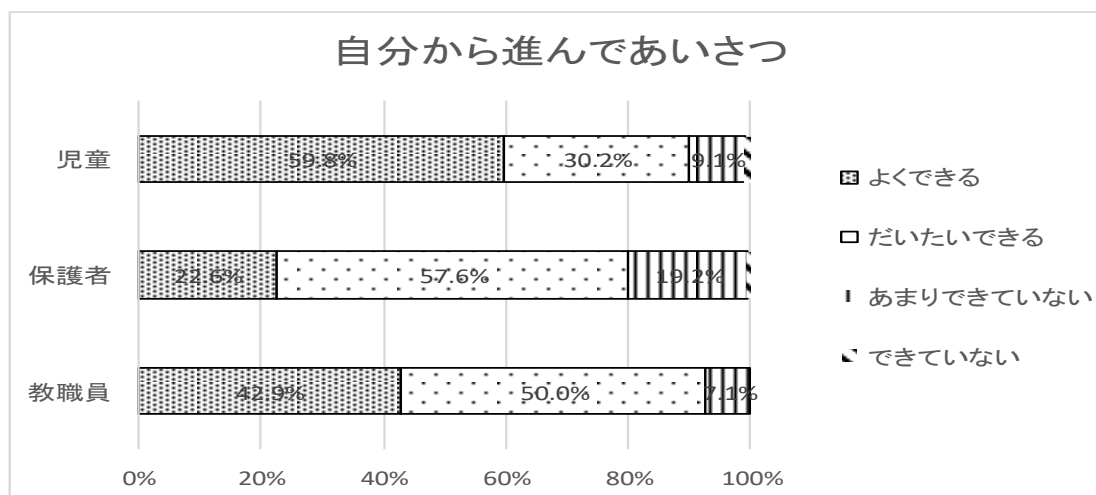
「読書の習慣が身についている」と回答した児童の割合は前期より2ポイント近く上がり約69%、保護者の割合は前期より2ポイント近く下がり約50%となっています。朝読書の時間の活用とともに、1・2年生の児童は、毎週1回は国語の授業に図書館に行き、図書館司書とも連携し、じっくりと読書する時間を設定しています。3年生以上の学年も積極的に図書館を活用しています。引き続き読書をする事の大切さを伝え、家での読書習慣を定着させていくことが必要であると考えています。



豊かな心・健やかな体

あいさつ

「あいさつ」については、「よくできる」と回答した児童の割合は前期より約6ポイント上がり、保護者の割合は前期とほぼ同じ割合でした。あいさつはすべてのコミュニケーションにつながり、相手に伝わって初めて成立するものです。これからも朝の登校時のあいさつや毎日あいさつを交わす大切さを伝え続けることが大切であると考えています。



学校のきまり

「学校のきまり」について、「守っている」と回答した児童の割合は、前期より1ポイント上がって94%、保護者の割合は、1ポイント下がってものの97%と高い割合を示しています。学校運営協議会では、トイレのスリッパが以前よりそろそろようになったとのご意見をいただきました。

友だちやまわりの人を大切にしている

「友だちやまわりの人を大切にしている」については、児童は前期と同様に約97%、保護者は前期より2ポイント下がって約95%が「できている」と回答しています。高い割合を示していますが、いじめはどこでも起こり得るものであると言われています。「いじめアンケート」を実施し、「あのねタイム」で一人一人から話を聞く他にも、普段から児童の様子をしっかりと見つめ、児童の声に耳を傾けるなどの基本的で原点とも言えることを今後も進めることが重要だと認識しています。

早寝・早起きなど規則正しい生活

「できている」と回答した割合は、児童が前期より約3ポイント上がって約77%、保護者が前期より約4ポイント下がって約75%と低い結果となっています。児童にとっての早寝・早起きの大切さ、規則正しい生活の大切さをどう伝えていくかを考えていく必要があります。「外で元気に遊ぶ」と回答した割合は、児童は前期より1ポイント上がって約84%、保護者は前期より3ポイント下がって約78%でした。休み時間には外で遊ぶ児童も、帰宅後は習い事等で遊び相手が少ないことや外遊びの場所が少ないのではないかと考えられます。学校運営協議会では、学区内に球技などで遊べる場所がないが、学校のロング屋休みに友だちと遊び、運動して、仲間づくりにつながっているとのこと意見をいただきました。

学校・家庭・地域の連携

「毎日週予定表を活用して準備をしている」

児童の回答が前期より2ポイント上がって約95%、保護者の約92%が学習予定表を活用して準備をしたり、学校の様子を確認したりできていることがうかがえます。

「学校の先生に話しやすい」

児童の回答は前期とほぼ同じく約90%、保護者の回答は約84%が話しやすいと回答しています。学校としても、より話しやすい関係を築いていけるように共通理解を図っていきます。

「学校行事」

児童の回答が前期より1ポイント上がって約97%が、「楽しみにしている行事がある」とし、積極的に参加している様子が、日々の活動からもわかります。保護者の回答は前期より4ポイント下がって約85%となっています。保護者のご意見をお聞きする必要があると考えています。学校運営協議会では、子どもたちは学校行事を楽しみにしていること、かがやきフェスティバルできれいな歌声を聞かせてもらうことを楽しみにしているとの感想をいただきました。運動会では学年の特色が出ていてよかったとお言葉をいただきました。

「地域の行事を楽しみにしている」

桂小学校区ではたいへん豊かな地域行事があります。児童の約90%が楽しみにしている行事があると回答し、「子どもが地域行事に参加する」と回答した保護者の割合はの75%が児童を積極的に参加させていることがわかります。